

ものづくり合同会社説明会

■ 企画概要

県内工業団地内の企業7社程度による、座談会形式の気軽な雰囲気の中での合同会社説明会。当日は企業代表者からの企業PRを、若手社員からは仕事内容や職場の雰囲気を語って頂くことにより、ものづくり企業に興味を持ってもらうようにする。

■対象: 求職者、企業

- POINT -

座談会形式の導入

グループ(5~6人)毎にすべての参加企業とざっくばらんに話ができる座談会を導入。グループには求職者と企業との効果的な橋渡しができるようスタッフを配置し、座談会の雰囲気作りをサポート。

来場者配布冊子の内容充実

必要な情報を沢山盛り込み、説明会以降も冊子を読み込んだ求職者が該当企業に魅力を感じ、応募を喚起する事に繋げる。



- 企画実施の目的 -

- ・地元の若年求職者と参加企業がフランクに会話機会を持つことにより、若年未経験者ともものづくり企業が相互理解を深めマッチングを高める。
- ・ものづくり企業が自社の魅力を各コンテンツ内で伝えることで、地元の若年求職者にもものづくり企業の魅力を感じてもらい、就職意欲を高める。

- 効果 -

- ・求職者は企業の存在を感じ興味を抱き、知らなかった地元企業を発見し就職選択肢が広がる。
- ・若年者採用の効果的なPR方法を企業に提供することにより、企業の採用力向上につながっている。

- 今後の展開 -

- ・「求職者の満足度＝早期就職決定」というポイントにも視点を持ち、より良いマッチングイベントを実施していく。
- ・集めた企業情報を「どのように話し(話し方)、誰から伝えるのか?(若手社員)」という点と合わせてジンチャレの集めたノウハウ、情報資産として関係機関(商工会議所等)へ提供し県内企業の採用支援を行う。

ものづくり合同会社説明会

■ 企画詳細

【実施プロセス】

『企業PR』で主旨を述べ、『座談会』で詳細を伝え、『フリータイム』にて日程を設定。段階を踏んだプロセスとなっている。

①企業PR

1社5分の自社PR

以下の4点について全参加者に向けて自社PRを行う。採用担当者の姿や話し方を通し、熱意や社風を感じ取ってもらうようにする。

- 1) 自社の事業内容や製品(商品)
- 2) 今回の募集背景
- 3) 募集職種の仕事内容
- 4) 求める人物像

②座談会

気軽に意見交換

1グループ(企業様+参加者6名程度+スタッフ1名)15分にて、『ざっくばらん』な意見交換を行いより深く企業に興味を持ってもらう。その興味は理解・納得・共感へと向かい、応募意欲につながることを期待できる。

③フリータイム

積極的に行動

一対一または数名での話し合いによって企業と求職者との接点を持つ。

また、会社訪問や面接の日程を設定できるため合同説明会後の行動促進につなげることができる。

①企業PR



②座談会



③フリータイム



ものづくり合同会社説明会

■ 企画詳細

【実施状況】

☆ものづくり合同会社説明会inせき☆

キャッチコピー 『10年後良かったと思える仕事がしたいから ものづくり企業で自分の可能性に挑戦！』

〈日時〉

2008年6月21日 12:30～17:00

〈参加人数〉

30名(正社員就業希望の若年求職者 及び 平成20年度卒業予定者)

〈参加企業〉

6社

〈支援内容〉

若年人材確保のための企業と求職者のマッチング支援

〈実施内容〉

企業様6社による、合同会社説明会

①企業PR ②座談会 ③フリータイム

参加者アンケート結果

大変良かった	42%
良かった	55%
無回答	3%

●企業PR

- ・説明が図や部品を使って分かりやすかった。
- ・話に熱意があつてすごかった。
- ・ものづくりには様々な内容の仕事があることを知った。

●説明会の感想

- ・ホームページ等では分からない会社の内容(仕事、勤務など)が理解できた。
- ・合同でやっているの質問がしやすかった。
- ・夢に近づいた！



ものづくり合同会社説明会

■ 企画詳細

【認知経路】

- ・スタッフからの声掛けが一番多く、過去どの回を見ても一番多かった「チラシ・ポスター」による集客を上回る。
- ・昨年度から課題である集客においては、やはり「口コミ」「スタッフ誘導」の力強さが現れた。



〈ものづくり合同会社説明会inせきの例〉

①チラシ・ポスター	ハローワーク	6
	新聞折り込み	4
	職業訓練校	2
	ジンチャレ	2
	学校	1
②広報	知人の紹介	1
	新聞紙面広告	1
③メディア	ジンチャレ！HP	5
④紹介	ジンチャレ！スタッフ	21
	家族	1
⑤その他	電話をもらって	1

■ 企画ナレッジ・ノウハウ

- 他の地域で活用できるナレッジ・ノウハウ -

- ・小規模合同会社説明会を開催する場合、座談会形式を採用入れることにより、参加者と企業との距離が縮まり、その後の企業ブース訪問につながりやすい。
- ・来場者配布冊子は、説明会を終えてから見直しても理解ができるように細かく記し内容充実を図る。

(担当者コメント)「会社PR→座談会→フリータイム」という手法を用いて、段階的に企業の魅力がわかる仕組みを取っています。特に、座談会では膝をつき合わせてざっくばらんに話ができるので、知りたい情報が得られやすく、次の行動へとつながりやすいのがこの合同会社説明会の特長ですね。

